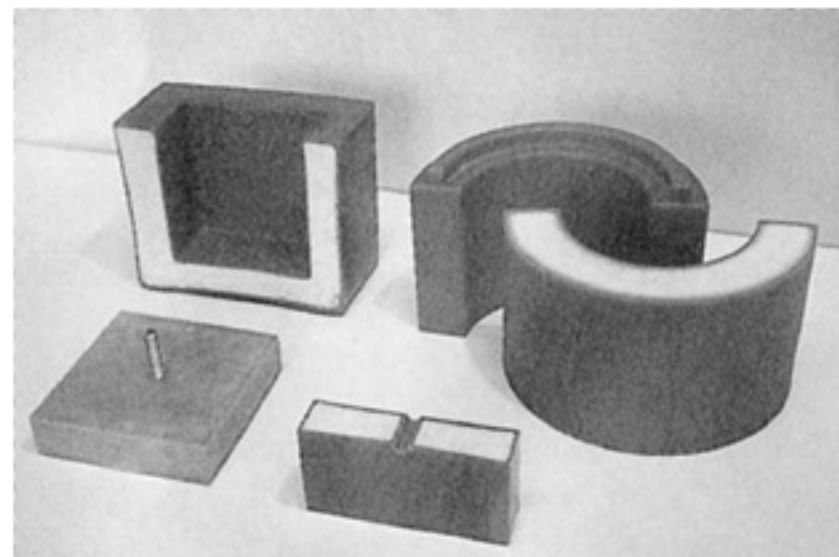


プラスチック発泡複合体の同時成型技術

〔技術・製品の概要と特徴〕

粉末プラスチックと架橋剤および発泡剤を配合したポリエチレン粒状体とを金型に入れ、回転しながら加熱することにより表皮と発泡体の両者が接合一体化した発泡複合体を一工程で成型する技術。

耐熱性に優れ、吸湿せずに50年間使用できる断熱材や、見掛け比重が0.1~0.5で木材と同等の強度がある剛性体、さらには軽量で強度があり衝撃で壊れない弾性体などを製造できる。プラスチックの再生材も利用できる。



〔用 途〕

- (1) 50年使える断熱材、断熱槽、温泉パイプ
- (2) 軽量で剛性のあるパレット、建築用型枠
- (3) 衝撃で壊れない浮子、オイルフェンス
- (4) プラスチック廃棄物の中に入れた柱、厚板

〔希望する技術移転の(1)形態・(2)相手先・(3)地域〕

- (1) 特許実施権供与
- (2) 企業規模不問
- (3) 国内・海外いずれでもよい

〔開発段階〕

試作・実験(未了) 製造・販売実績(無)
関連特許(出願中)

〔提供可能資料など〕

技術資料、パンフレット、サンプル、特許公報